

# NID News

2008 September

002





# 特集 大学祭 '08 10.11(土) 12(日) 9:00~20:00

今回は、10月11日(土)、12日(日)に開催される長岡造形大学大学祭の内容について特集します。  
今年で15回を数える大学祭は、例年にも増して強力なプログラムでみなさんのお来場をお待ちしています。

## 今年のテーマは Puzzle

メインビジュアルではパズル製造機が描かれています。これは、既製品のジグソーパズルの概念を打ち砕く、新しいパズルのピースをNIDで創造することを表しています。街角のポスターや会場内の様々なところでみなさんは見かけるはず。とっても可愛いので、探してみてくださいね。

学内のマップ、サイン、横断幕、ピクトグラムなど、学生がデザイン案から準備まで、すべて携わりひとつの会場を手掛けています。ぜひ注目して見てください。



今年の大学祭実行委員↓



## ゲスト企画

ゲスト / 中村佑介氏  
日時 / 10月11日(土) 13:30~15:30  
11:30 整理券配布開始  
13:00 開場  
場所 / 大講義室  
内容 / 講演、似顔絵コーナー



ゲストプロフィール：  
中村佑介 (なかもら ゆうすけ)  
イラストレーター、ミュージシャン。Asian kung-fu generationのCDジャケット等を手掛ける



## コレカラ

10月11日(土) 9:00~18:00、12日(日) 9:00~17:00  
「Collection of Colors」(略称：コレカラ)は学生だけでなく、先生方や地域の方々から参加いただいている自由作品展です。この企画は毎年開催しており、近年は幼稚園のクラス単位での出展や、県外の方々からの出展も増え、より魅力ある作品展へと成長しています。たくさんの方々「つくる」楽しみを味わってもらうために作品のテーマ、ジャンルは問わず、自由に制作した作品を展示します。



## N展

10月11日(土) 9:00~18:00、12日(日) 9:00~17:00  
N展とは学生の課題作品展です。今までに学生が制作してきた授業課題の作品の中から優秀なものやユニークなものを選抜。NIDならではの作品展です。



## 作品展示・販売

10月11日(土)、12日(日) 9:00~18:00  
ポストカードやアクセサリ、手ぬぐいや服など学生がつくった様々な作品を購入することができます。他では売っていないNID生の作品が購入できるのはここだけです。  
他にも学内企画として、オリジナル映画の上映やライブペイントなど、個性あふれる企画が目白押しです。



## ステージライブ

10月11日(土)、12日(日) 10:00~19:00  
学生エントランスに出現する特設ステージでは、学生によるライブやダンスを楽しむことができます。デザイン大学だからと侮るなかれ。他にも和太鼓や吹奏楽と楽しめるものばかり。ハイレベルな演奏とダンスで大学祭を盛り上げます。





### FM公開生放送

10月11日 12:00~13:30

今年も長岡造形大学ではFM PORTの公開生放送があります。FM PORTで活躍中のパーソナリティが学生と一緒にエキサイト！大学祭の魅力をこぞとばかりに発信します。



### 模擬店

10月11日、12日 9:00~20:00

屋外では学生が飲食物の販売をする模擬店が行われます。個性あふれる模擬店で一息入れてください。



### エコバッグ制作

10月11日、12日 9:00~17:30

レストラン脇の中庭（雨天時レストラン内）  
無地の布袋に、絵の具やフェルト、ビーズなどを使って、装飾をほどこします。君だけのオリジナルバッグをつくろう！



### 大花火

10月12日 19:00~

ステージライブ終了後、カウントダウン映像を流し、それに合わせて花火の打ち上げを行います。恒例の大花火。今年は例年以上に豪華な花火が見られるかもしれません！



※各企画は予定であり、内容を変更する場合があります。 ※掲載した企画の他にも様々なプログラムを用意しています。詳しくはホームページ (<http://nidfes.com/>) をチェックしてみてください。



「良寛」という生き方。

2008年度 特別公開講座

## 「良寛」という生き方。

講師：立松和平氏（作家）

### 10.12 13:30~15:00

今年も大学祭にあわせ、特別公開講座を開催します。  
今年には作家の立松和平氏を講師に迎え、「良寛」という生き方。をテーマにお話しいただきます。  
お気軽にご参加ください。

長岡造形大学特別公開講座  
**作家 立松和平氏**

日時：2008年10月12日(日) PM1:30~PM3:00  
場所：長岡造形大学大講義室

 <http://www.nidfes.id.ac.jp/> 長岡造形大学



講師プロフィール：立松和平（たてまつ へいいち）

作家。1947年栃木県生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。在学中に「自転車」で早稲田文学新人賞。卒業後、種々の職業を経験、故郷に戻って宇都宮市役所に勤務。79年から文筆活動に専念する。80年「迅雷」で野間文芸新人賞、93年「卵洗い」で坪田謙治文学賞、97年「毒・風間・田中正造」で毎日出版文化賞。国内外を問わず、各地を旺盛に旅する行動派で、近年は自然環境保護問題にも積極的に取り組む。2002年、歌舞伎座上演「道元の月」の台本を手がけ、第31回大谷竹次郎賞受賞。2007年、「道元禅師」（上・下）で第35回泉鏡花文学賞受賞。著書多数。最近の小説に「道元禅師」（上・下）東京書籍、「晩年」人文書院、「救世 聖徳太子御口伝」大法輪閣、エッセイに「芭蕉」佼成出版社、「立松和平 日本を歩く」（全7巻）勉誠出版、「百霊峰巡礼」（第2巻）東京新聞出版局、「伊勢発見」新潮新書などがある。

会場：大講義室／定員：250名（定員になり次第、締め切らせていただきます）／受講料：無料

申込方法：往復ハガキまたは電子メールに、郵便番号・住所・電話番号・氏名・性別・年齢・「特別公開講座希望」と明記のうえ、以下の宛先にお申し込みください。折り返し受講票を返送いたします。

長岡造形大学 学務課教務係 〒940-2088 長岡市千秋4丁目197番地 Tel：0258-21-3351 e-mail：kkoza2008@nagaoka-id.ac.jp

プロダクトデザイン基礎演習 —  
第2学年前期  
選択/演習

👉 こんな授業！

プロダクトデザインを行う上で基本的なスキルである「コンセプトメイキング」と「造形」についてトレーニングを行う授業です。課題は主として①機能を重視して発想するものと、②造形展開力を重視するトレーニングの2つのパターンがあります。機能重視の場合は単に機能実現だけではなく、ものと人との関係性についても検討を行います。造形展開力のトレーニングでは、一定の条件を満たした上で、多様な形の発想、展開を行います。両課題とも加工が容易な素材で立体モデルの制作を行います。

📁 ピックアップ・テーマ

①機能重視のトレーニングでは、「ハンガー」と「テレビリモコン」を例に、現状の問題点を洗い出し、新たなコンセプトを提案します。最終的には、提案をまとめ、立体で表現します。

②造形展開力のトレーニングでは、「コルク抜き」、「マウス」及び「調味料入れ」の3種類のツールについて、持ち手などの形状について30～50個のデザイン案を展開します。その後、形状を絞り込み、モックアップ（発泡スチロール素材を加工した模型）を制作します。

😊 ここが面白い

頭をやわらかくし、考えられるデザインを洗い出す作業は大変ですが、問題発見や造形発想の展開において良いトレーニングになります。自分の好みを追求しすぎてしまうと、プロダクト製品の持つ本来の目的を達成できなくなることがデザイン展開する上で難しい点です。同じテーマでも千差万別の製品が出来上がるどころか魅力です。



様々なカタチが生まれるモックアップ制作↑



「コルク抜き」のモックアップ↑

デジタルデザイン基礎演習 —  
第2学年前期  
選択/演習

👉 こんな授業！

アニメーションの基礎、そして作品を仕上げることを演習を通して修得する授業です。この演習ではアニメーションを、1つのテーマで2種類（フリップブック、Flash）の手法を使い作品にしていきます。また、授業の中でweb、アニメーション、デジタルアートといった作品を紹介し、デジタルデザインの世界の広がりにも触れます。

📁 ピックアップ・テーマ

この授業ではアニメーションの古典的な手法である「フリップブック」（パラパラマンガ）の作品を制作します。まずは、自分でテーマを設定し、アイデア出しを行い、何度も何度も机上でマンガのストーリーを考えます。その後、パソコンのソフトを使い、50枚程度の短冊にストーリーを落とし込みます。最後に製本作業を行い、フリップブックの完成です。そして、次に完成したフリップブックのストーリーをFlashを使い、web用のアニメーション作品として制作します。

😊 ここが面白い

フリップブックは、制作途中には動きを確認することができないため、すべてのページが揃い、本の状態になったときに初めて動きを確認できます。自分で制作してきた作品が動き出したときは、驚きと感動があります。しかし、一度で完成とはいかず、何度も確認しながら滑らかな動きを追求していきます。



デザイン案を構想中↑



出来上がった作品は学内に展示し、だれもが手にとって楽しむことができる

工芸デザイン基礎演習 —  
第2学年前期  
選択/演習

👉 こんな授業！

金属工芸の導入となる授業であり、金属、ガラスを実際に切る・溶かす・たく・削る・付ける…などの方法によって成形し、素材と技法の関係から生まれる効果や可能性を演習し、知識・技法を修得します。

4つの領域の中から3つを選択し、課題に取り組みます。（ガラスは必須課題）

📁 ピックアップ・テーマ

（4つの領域のうち、鍍金、彫金、ガラスを選択した学生の例です）

鍍金では、「自然物のレリーフ制作」という課題のもと鍍金と背板を制作します。「羊の親子」をテーマに制作した学生は、温かい雰囲気を出すために羊毛の質感を表現することが難しかったようです。

彫金では、「透かし・接合技法を用いたジュエリーの制作」という課題のもとペンダントとリングを制作します。

ガラスでは「スランピングとフュージングによる“器”の制作」という課題のもとガラス皿を制作します。ガラスの板をデザイン通りに切断し、枠にはめ込み、熱を加えて一枚の板にします。そして、ガラス板の形を整え、型の上のせ熱を加え曲げていくと、器が完成します。

😊 ここが面白い

鍍金では、型を作るための原型造りでワックス（蠟）を使って石膏の型を造り、そこに金属を流し込んで仕上げます。金属を流し込むまでは金属を扱わないのが鍍金の特徴です。

彫金では、ヤスリや糸のこぎりを使用しリングを自分の指に合わせて作ることができ、お気に入りの一品を制作できます。

ガラスでは、時間に余裕があるときには、アクセサリーも制作できます。



鍍金工房にて熔解した金属を型に流し込む↑



左：羊の親子 右：ガラスペンダント↑

環境デザイン演習 II —  
第2学年前期  
必修/演習

👉 こんな授業！

環境保全や新たな環境創造のための実践的手法を修得するために、公園、庭園、街づくりなどの「環境計画」において、土地の持つ資源を把握しながら、保存・開発の手法について具体的事例を用いてケーススタディ演習を行います。授業は、3～4人でグループを組んで、それぞれ対象地区に足を運んで調査をし、模型を作り、問題点を見つけ、街をさらに活性化させるための提案を発表します。

📁 ピックアップ・テーマ

「長岡市中心市街地の現状把握と、改善点の提案」というテーマのもと、平成23年完成予定の公会堂、市役所、屋根付き広場が一体となった市民協働型シティホールの周辺エリアを対象地区として演習を行います。この演習では、「古いものを壊して新しいものをつくる」のではなく、「今あるものを活かして、リニューアルさせる」ことがミソとなっています。

😊 ここが面白い

身近に接する場所の良い点、悪い点を的確に把握し、その場所何が求められているかを読みとる能力を身につける授業です。

最終的には演習で制作した模型やパネルを用いて、学生や先生に対し発表を行います。提案することをまとめ、的確に伝達することを日常的に訓練します。

また、建築模型作りには、スタイロフォームという断熱材を材料として使用します。高温の針金のようなカッターを使用し材料をカットしますが、慣れるまでは難しいようです。



スタイロフォームを加工し模型制作↑



パネルと模型を駆使してのプレゼンテーション↑

## introduction

ここでは各学科の在学生の「今」をみなさんにお届けします。  
今回は、3年生に焦点を当ててご紹介いたします。



今井 智充

ものデザイン学科 (2009年4月よりプロダクトデザイン学科)  
3年/プロダクトデザインコース  
出身: 糸魚川白嶺高等学校

### 今、取り組んでいること

企業実習をやっています。“車が楽しくなるもの”というテーマで考えているんですけど…、企業内デザイナーの方が授業とは違う企業的なことを教えてくれるので、毎日新鮮な驚きでいっぱいです。一緒に学科の友達とわいわいアイデアを出し合いながらやれるのも刺激になります。

### 今後の課題や目標

将来は家電メーカーに入りたいです。けれど今は“何でも一生懸命やる”が目標です。目の前のことを楽しめないのに、その先の段階に進めるわけがないと思っています。デザイナーの方は“楽しんでデザインしろ”とおっしゃいますし。今は授業も含めて目の前の課題をひとつずつ楽しみながらできるよう努力したいです。



2年次課題 キーレスエントリーキー↑

### NIDのオススメの過ごし方

友達、サークル仲間など違う学科の人たち、とにかくいろいろな人と遊ぶこと。仲が良くても価値観が違い、考え方やカルチャーが違う。それを楽しんだり、考えたりすればだんだんとデザインに繋がる。そういう人との付き合いから得られるものを大切にすることがNIDでは重要です。



友人と↑

### はまっていること

ずっとNID総合音楽会というサークルに所属しているのですが、やっぱり音楽ですね。すごいです。みんなで高めあっている環境が気に入ってますし、学年関係なく笑いあえるのは“ウチ”が一番だと思います。みなさん！ぜひ一度、総音のライブに来てください。



関谷 恵理奈

視覚デザイン学科  
3年/ビジュアルデザインコース  
出身: 新潟北高等学校

### 今、取り組んでいること

「スニーカー」商品広告の制作や、「ワクワク・ドキドキ大賞展」に向けての作品制作をしています。広告は奥が深くとても難しいです。でも将来仕事としてやりたいことなので自分の身になると考えると、楽しみながらやれます。

### 今後の課題や目標

3年後期になるとそれぞれの研究室に入るの、自分のやりたいことを追求したいと思います。夢であるグラフィックデザイナーとして仕事ができるように一杯がんばります。絶対有名になりたいです！



2年次夏休み課題 「PEACE」↑

### NIDのオススメの過ごし方

学生の憩いの場である「ラウンジ」でソファに座りながら友達と話したりするのはオススメです。ラウンジは、白を基調とした空間になっていてオシャレ感満載です。他にも、天気の良い日にはレストランから中庭のテラスに出て、お昼ご飯を食べるのもいいですよ。

### はまっていること

よく地元の新潟に帰って友達と飲みに行っています。なんといっても長期課題を終えた後のお酒は格別です。勉強することや作品制作も大事ですが、人と人のコミュニケーションもすごく大事だと思って、居酒屋に行ったら店員さんやお客さんと仲良くなって色々な話をします。



友人との飲み会↑

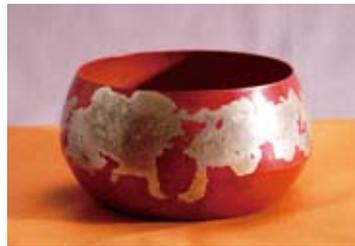


楳原 照葉

ものデザイン学科 (2009年4月より美術・工芸学科)  
3年/工芸デザインコース  
出身: 宮崎日本大学高等学校

### 今、取り組んでいること

3年生の後期では素材を金属に絞って、様々な技法を学びました。その一つに鍛金技法があり、金属を鍛えながら造っていきます。熱を加えるなどの加工の仕方、金属は変幻自在に姿を変えます。工房で金属と格闘し、また向き合うことを繰り返す度に、金属の持つ本当の魅力に気付かされ、驚きと感動を覚えます。



鍛金(絞り)による器の制作↑

### 今後の課題や目標

学外の土地に足を運ぶと、人や風景、文化との出会いがあります。新しい発見の連続で考えさせられることがたくさんありました。その経験が課題のデザインに活かされたりします。大学生生活は驚くほどあっという間に過ぎます。吸収できることは思う存分吸い込んで、作品や卒業後の進路に繋げていこうと思います。



工房でのやすらぎのひととき↑

### NIDのオススメの過ごし方

大学の周辺は自然がいっぱいです。食後にテラスの芝生で友達と寝そべるのは最高ですよ。気持ちよすぎてそのまま寝てしまったこともあります。また、週に2回あるバスケットボールサークルも気分転換の一つです。

### はまっていること

夏休み期間を利用して国内外の土地を旅することに、はまっています。人、自然、遺産、文化にふれる旅です。学ぶ、遊ぶを一緒のものとして考えるようにしています。五感で感じることは本当に気持ち良くて考えることよりもまず行動！という私の性格にはぴったりです。



佐藤 舞

環境デザイン学科 (現建築・環境デザイン学科)  
3年/建築デザインコース  
出身: 長岡向陵高等学校

### 今、取り組んでいること

設計課題を中心にがんばっています。整形を組み合わせさせていき、その中に不整形を生み出していくことに取り組んでいます。1、2年の頃は整形ばかりをやっていたので、自由な線に戸惑いの連続です。自分のやりたいものは何かがわからなくなり、苦勞した時期もありますが、基本的には楽しんでやっています。



3年次課題 模型↑

### 今後の課題や目標

まずは自分の形や、やり方を見つけていくということが課題であり、目標だと思います。まだ、自分の形や手法にめぐり合えていないので、探りながら見つけていきたいと思っています。

### NIDのオススメの過ごし方

私はデザイナーズ家具が好きで、学校内にはたくさんのデザイナーズチェアが存在するので、そのイスに座りながらゆっくりするのが好きです。学長室や応接室、先生の控室などにあるイスはすごく好きです。あとは定期的に展示される他学科の作品を見るのも好きです。

### はまっていること

ライブめぐり！ポルノグラフィティが大好きで、北は北海道から南は淡路島まで全国各地をまわっています。ライブめぐりをしながら、ちゃんとその土地の建築めぐりもしていきます。最近、好きなバンドを発見したので、楽しみがまた増えました。普段の生活でも音楽は課題を乗り切るための大事なものです。



ポルノグラフィティのCDジャケットと建築を↑やっている人は知っているはずの「TOD'S」の袋

## introduction

NIDを巣立ち、社会で活躍する卒業生をご紹介します。  
卒業生の様子を是非ご覧ください。



池津 早人

勤務先：カシオ計算機株式会社

## 現在の仕事内容

G-SHOCKのデザインを担当しスタンダードなものからハイグレードなものまで色々なG-SHOCKをデザインしました。4月からは携帯電話の部門で新たなチャレンジをしています。時計のデザインの楽しさはなんといっても自分のデザインに街などで出会えることです。職業柄常に人の腕に目がいてしまうのですが、自分の時計を着けてくれている人を見つけると、近寄って行ってありがとうと抱きしめたくくなります。この感動のために仕事をしているととても過言ではありません。現代において携帯電話は生活に欠かせないのでできないモノです。きっと街で感動の出会いは増えるのではないのでしょうか。そんな日を夢見てカッコいい携帯電話を作ってやろうと思っています。

## 仕事に就く「きっかけ」

学生時代、勉強ができませんでした。スポーツの次に美術が得意だったので得意分野を生かした道はないかと考えていたところ、長岡造形大学が開学することとなり、絵画をやっていた母の薦めもあって受験することになりました。長岡造形大学の誕生と出会いが私にとって最高のきっかけです。

## 学生へのアドバイス

課題や仕事にしろ、自分が今やろうとしている事を楽しんでいるかどうかが重要だと思います。それなりのモノを作るのは難しくないことですが、目の前の事をよく考えて熱中して楽しめている時は自分でもビックリするくらい、良いモノが生まれます。人の想いが詰まったモノは見た人、使った人を必ず感動させることができると思います。1人でもいいので自分の作品のファンを作りましょう。きっともっと楽しくなれます。

池津 早人

1976年生まれ。新潟県出身。  
1994年 北越高等学校(新潟県)卒業  
1998年 長岡造形大学造形学部産業デザイン学科  
工業デザインコース卒業  
1998年 カシオ計算機株式会社入社  
デザインセンター所属



加藤 誠二

勤務先：株式会社 arts

## 現在の仕事内容

auの総合カタログを中心にキャンペーンポスターや販促ツールなどを制作しています。現在は10月号・11月号の総合カタログを制作中ですが、販促ツールのデザインの見直しなども同時にやっているところです。他にもカタログで使用するモデルさんの撮影や、キャンペーンポスターの撮影に立ち会ったりします。撮影はいろいろな方々から刺激を受けるので楽しい仕事の一つです。

## 仕事に就く「きっかけ」

中学生の時から映画が好きで、進路を考えた頃は漠然と映画関係の仕事に携わりたと思っていました。ですが、そんな時にたまたま見た美術の教科書に亀倉雄策さんの東京オリンピックのポスターが載っていて、そのポスターにもものすごく衝撃を受け、自分でも作れたらいいなという憧れからグラフィックデザイナーになろうと決めました。そのポスターに出会って人生が変わったと思います。

## 学生へのアドバイス

「真面目に遊んで、楽しく学ぶ」前学長の鎌田先生の言葉です。大学生活は本当に貴重な時間です。楽しんでください。

## 夢や目標

やはりアートディレクターになりたいという思いはずっとあります。まずはデザイナーとして多くの人に認められる存在にならなければいけないのですが、今できる事として、ちゃんと人とコミュニケーションをとること、デザイン能力を高めるために仕事以外の時間でも勉強することが大切だと考えています。険しい道のりだと思いますが、日々勉強しながら、がんばっていきたいです。

加藤 誠二

1983年生まれ。長野県出身。A型  
2002年 野沢南高等学校(長野県)卒業  
2006年 長岡造形大学造形学部産業デザイン学科  
視覚デザインコース卒業  
2006年 株式会社 arts 入社



蓑輪 朋和

勤務先：株式会社玉川堂

## 現在の仕事内容

新潟県燕市に江戸時代の後期より続く鋳起銅器の製造です。鋳起銅器とは、平らな銅板を金鋸で立体に打ち起こすことによって作られた、花器や湯沸しのような工芸品のことをいいます。製造するだけでなく商品開発からエンドユーザーが見える販売現場まで幅広く携わっています。近年は海外のテーブルウェア展に出品する商品も手掛けています。

## 仕事に就く「きっかけ」

よい仲間とよい先生に出会えて、皆、デザインやアートに興味を持っている仲間なので、一緒にいてとても楽しかったです。課題では切磋琢磨し、完成後には楽しくお酒を飲んだりしていました。鋳起銅器の技術である鍛金は恩師の馬場先生から教わったのですが、その中で強く感じることもあり、ぜひこれを続けたいと思いました。

## 学生へのアドバイス

多くの課題の中で最も大変だったのは卒業制作でした。テーマは自ら決めるわけですが、何故それを作るのか、オブジェ的な作品の制作だけに悩みました。そして、このときのテーマは今も追求し続けています。これから卒業をむかえる4年生のみなさんも4年間の集大成である卒業制作に全力で取り組んでください。

## 夢や目標

私の場合は学んだ分野の延長上の仕事を選んだので、大学で学んだことをある程度そのまま活かしていますが、先輩方にはとても及びません。これからも研鑽し、銅器作りに励みたいと思います。

蓑輪 朋和

1979年生まれ。新潟県出身。  
1998年 高田工業高等学校(新潟県)卒業  
2002年 長岡造形大学造形学部産業デザイン学科  
工芸デザインコース卒業  
2002年 株式会社 ウィン・ディー 入社  
2002年 株式会社玉川堂入社



小野 光智

勤務先：上海亜意舎建築設計諮詢有限公司 (A-I-SHA ARCHITECTS)

## 現在の仕事内容

中国上海にて、建築設計全般に関わる仕事をしています。市内のオフィスビル内装設計や保存建築改修プロジェクトなどを経験し、現在は金融センター実施設計に携わっています。(会社HP→<http://a-i-sha.com>)  
中国の現場は日本の現場とは違って荒れ放題なところが多く、自分の設計するエリアをチェックするときに、廊下で干してある作業員のパンツやTシャツを、のれんのようにくぐったりして行くこともあります。

## 仕事に就く「きっかけ」

建築に興味を持ったのは、父親が大工だったことが大きな要因です。仕事現場で廃材をいじって遊んでいた感覚の延長で建築設計をしているところがあります。上海に来るきっかけは、東京でアトリエ設計事務所のバイトをしていたとき、先輩の紹介があったからです。上海に来たからは、大学で中国語を勉強せずにイタリア語を勉強した自分を相当恨みました。

## 学生へのアドバイス

長岡造形大学には好きな事を集中して探求できる環境があります。また好きな事を競いあえる友達や、知らない世界を教えてくれる先輩がいます。それは人生の中で貴重な財産で、社会に出ても常に助けになるものなので大切にしてください。あと第2外国語の選択は慎重に。

## 夢や目標

現在、上海で感じる事ですが、「建築」は自分で思っているよりもずっとボーダーレスで、言葉の違いや文化の違いを簡単に乗り越えてしまう力があります。これからも、色々な土地でいろんな考えを吸収して、それを形にできる設計者を目指したいです。

小野 光智

1983年生まれ。福島県出身。  
2001年 会津工業高等学校(福島県)卒業  
2005年 長岡造形大学造形学部環境デザイン学科  
建築コース卒業  
2005年 上海亜意舎建築設計諮詢有限公司  
(A-I-SHA ARCHITECTS) 入社





土田 知也

プロダクトデザイン学科 (2009年4月新設)  
教授/プロダクトデザイン学科長  
専門分野: 工業デザイン

専門分野の魅力

デザインしたものが、世界中の多くの人々の生活の中で使われること。美しさだけではなく、機能、コスト、作り方、使い勝手など、考えることがたくさんあること。厳しい条件下でデザインを考える行為は、難解なパズルを解くような快感に通じる部分があります。

最近のトピックス

六本木のアクシスで行われた「金の卵展」にプロダクトデザイン演習Ⅱの授業作品が展示されました。これはプロダクトデザイン系の学科、コースをもつ23の大学の3年生の作品を対象に行われるもので、本学は今年から参加しました。学生による公開プレゼンテーションなども行われ、参加した学生は大きな刺激になったようです。今後も外部のイベントに積極的に参加していく予定です。

学生へのアドバイス

大学周辺に、映画館や大きなショッピングセンターなどができて、いつのまにか、ずいぶんと便利になりました。美術館はあるし、コンサートホールはあるし、東京までのシャトルバスはあるし、自然も豊かだし、恵まれた環境をフルに活用して欲しいです。



長瀬 公彦

視覚デザイン学科  
准教授/視覚デザイン学科長  
専門分野: グラフィックデザイン、イラストレーション、ファインアート

専門分野の魅力

手掛けた仕事が目人に触れるということが一番の魅力だと思います。その作品によって見ず知らずの人の心を動かし、何かしらの行動を起こさせる。時には笑わせたり、うっとりさせたり、泣かせたりすることもできる。こんなに楽しい仕事はないと思います。

最近のトピックス

このお盆休みに、ポローニャ(イタリア)国際絵本原画展という、絵本作家・挿絵画家の登竜門的な国際コンペを観に行きました。そこでなんと、卒業した僕の研究室の学生が入選していました!この展覧会は今年42回目の由緒ある国際コンペで、世界54カ国からプロ・アマ、年齢を問わず約2600人の応募があり、そのうち99名が入選し、日本人は20人しか選ばれていません。彼女は寡黙な人で、今回の入選も連絡がなく、たまたま行って見つけました。作品は学生時代から変わらず独特の世界で、何やらおかしな言葉で話しかけて来る作品でした。頑張っている姿を見ると、本当に嬉しくなります。

学生へのアドバイス

この学生時代をムダに過ごしてほしくないです。僕も学生みんなに自慢できるような優等生ではありませんでした。映画、美術館、ギャラリーを観て回ったり、オートバイで野宿しながら旅したり、ヨットに明け暮れたり…、もちろんデートやバイトもしていました。でも今思うと、どの経験もが仕事に役立ってる、繋がっているんです。クリエイティブな仕事にとって大切な面白いアイデアは、好奇心がなければ出て来ません。ぜひこの4年間にたくさん遊んで、たくさんの経験をし、心の中の引き出しを満杯にしてほしいと思います。



馬場 省吾

美術・工芸学科 (2009年4月新設)  
教授/教務部長  
専門分野: 金属工芸(鍛金造形)

専門分野の魅力

「たんぎん」とは、金鋸で金属を叩き自由に変形させ必要な形態を創り出す手法のことです。左手は金属を支え、右手にハンマーを握り、耳は叩く音の変化を聞き取り、目は微細に変化する面を凝視し、直径5ミリほどの叩くべき位置(ピンポイント)を探りながら、一日叩き続けます。背はきしみ、腕は張り、ハンマー音の耳鳴りがしばらくやみません。

長い時間を経て岩をも変形させる雨だれの如く、自ら叩くリズムが、肉体の苦役を超え自然の呼吸と同調するとき、新しいカタチが現出します。

最近のトピックス

授業のモデルとして飼っていたウサギの「ガッツ」が7月に亡くなりました。長い間ありがとう。オスの黒いピーターラビット種・8歳でした。工房職員と学生に埋葬をお願いして、今は第2工房を見下ろす小高い丘に眠っています。合掌。

学生へのアドバイス

自分の学生生活はどうだった?と最近考えるのですが想いだされるのは友人と話し、酒を飲んで楽しんでいるか、工房で課題制作をしている場面が多いです。初夏の午後、工房で制作をしていて襲ってきた睡魔に耐えられず、図書館の片隅の涼しいベンチで一人、昼寝した心地よさ…。“好きなこと”が出来る素晴らしいこと、やり続けたことでしか解らない“悦び”があります。「学生」を十分堪能してほしいと思います。



上野 裕治

建築・環境デザイン学科  
教授/建築・環境デザイン学科長  
専門分野: ランドスケープ計画・設計、植物生育環境、緑地環境、景観計画

専門分野の魅力

「風景」という字は「風情」と「情景」に分割することができます。そして間に入るのが「情」(なさけ)です。そういう意味でいろいろなランドスケープには全て「情」が入っています。人の情け、いろいろな動植物の情け、見えないものにまで心を込めて設計する、それがランドスケープ・デザインの神髄でしょう。

最近のトピックス

長岡市三島の三島祭りでは、学生たちと竹灯籠を制作しました。使った竹の本数約400本、キャンドルの数約2000個。昼間も楽しめるように、竹による立体造形や竹口ポット、竹の犬なども制作しました。暑い中、約1ヶ月の作業でしたがとても充実した学外活動でした。

学生へのアドバイス

ぼくの『竹灯籠』のように、先生たちはいろいろな学外活動を行っています。先生たちと一緒にそういう活動に参加することで、学外のいろいろな人たちにも会えるし、大学では学べない実践的なことが体験できます。くつつき虫になっておおいに参加しましょう。

学生 & 保護者のみなさんにとって有効な就職活動の情報を発信していくコーナーです。去る7月27日に保護者の方々を対象とした就職ガイダンスを開催いたしました。当日はオープンキャンパスの開催日でもあり、130名を超す参加をいただきました。その内容の一部を紹介いたします。

## 保護者向け就職ガイダンスが開催されました

昨年度の就職状況について 

就職率88%、就職希望率85% [デザイン系大学ではトップクラス]

そもそも就職率とは就職者÷就職希望者なので、就職希望者数を減らすことで就職率は簡単に上げることができます。厚生労働省が発表した昨年度の全大学の就職率は97%ですが、これの基となっている就職希望率はわずか71%にすぎません。同じ就職率でも全卒業生を分母とし計算しなおすと全国平均は69%ですが、本学は75%になります。このように就職率は簡単に操作できるのですが、ほとんどの大学は就職率だけを見栄えの

良い数字にして発表しています。これから進学先を考える方は、就職率と同時に就職希望率をお聞きになると良いでしょう。

### 専門職就職率81%

専門職就職率とは就職者の内、デザインや設計など本学の専門を生かした職種で就職した学生の割合です。専門職は求人数も限られる狭き門ですが、本学の卒業生の多くは自ら希望する道へ進み活躍しています。



保護者の皆さんからいただいた質問 

 なかなか内定が出ないときはどうしたら良いですか、そのとき何か親にできることはありますか？

この答えはただ一つ、就職活動(以下、就活)を継続することです。何社か落とされると自信もやる気も失ってしまい、就活からリタイヤしがちになります。しかし、落ちたことをいつまで悔やんでも始まりません。最初の何社かは就活のコツを掴めていないので、落ちて当たり前です。ここで諦めたら内定獲得は遠のくばかりです。また闇雲に続けるだけでもなかなか結果に結びつきにくいので、就職進路開発センターと一緒に失敗原因を分析し、克服し、次にチャレンジしていくことが肝心です。

も大切です。「まだ決まらないのか」の様な叱責はマイナスにしかありません。また就活が長期におよんでしまった場合は、少しだけインターバルを置き、気分転換させてあげることも良いでしょう。

いずれにしても、内定への近道は継続しかありません。諦めずに継続した先輩は、ほぼ全員が内定をもらっています。就職進路開発センターと一緒に頑張りましょう。

では、親御さんにできることは何でしょうか？まずは安らぎの提供があります。就活で落とされるとかなりへこんでしまいます。こんな時は暖かい言葉や美味しいご飯で労ってください。 就活には自信が必要なので褒めてあげるこ



この他にも次の質問を受けました。

- 就職活動にはどのくらいの費用がかかるのですか
- 東京と新潟県内とどちらが就職しやすいですか 勤務地は選べますか
- 就職活動はいつから始めれば良いですか
- 複数の企業から内定をもらった場合、どのようにすれば良いでしょうか

これらの質問への回答につきましては、次号以降のNID Newsで順次ご紹介いたします。

## 就活講座に参加しよう

-  就活は3年生の冬から始まるって聞いたけど、それって本当？
-  就活って何からどうやって始めればいいの？

誰もが不安な就活。一人で考え込んでいても何も解決しません。そんな時は、まず就職進路開発センターに相談しましょう。個別相談形式なので、ひとり一人の状況に合わせて、納得いくまで相談できます。また9月以降は就活講座が毎週月曜日3時限目に開催されます。段階を踏んで次のステップに進めるように組み立てられていますので本番開始までには就活のノウハウを自分のものにできます。3年生は必ず参加してください。

就活の前に準備すること	
仕事って？業界って何？会社についての基礎を学び就活に向けて準備をします。	
9月22日	第2回就職ガイダンス 今後のスケジュールの説明とOB懇談会
9月29日	4年生就活体験談 内定した4年生からのアドバイス
10月6日	業界研究・企業研究 I 業界についてや企業の探し方を学びます
10月20日	業界研究・企業研究 II 業界研究や企業研究のコツを学びます
10月27日	人事担当者の座談会 会社側の本音や求める人物像などを聞きます
11月10日	自己分析おさらい もう一度自分のことを見つめなおしてみよう

就活に向けての実践	
履歴書の書き方や筆記試験対策など就活に必要な実践的な力を身につけます。	
11月17日	第3回就職ガイダンス 講座の進め方について解説します
11月24日	模擬筆記試験 実際に筆記試験を体験しましょう
12月1日	自己PRって？ 自分を売り込む方法について学びます
12月8日	応募書類の重要性 I 履歴書やエントリーシートについて学びます
12月15日	応募書類の重要性 II 実際に応募書類を書いてみよう
12月22日	就活マナー講座 服装や身なり、挨拶などのマナーを学びます

いよいよ就活スタート	
模擬面接で就活準備の総仕上げ、学内合同企業説明会でいよいよスタートです。	
1月5日	学生による就活講座 学生が中心となって企画した就活講座です
1月19日	第4回就職ガイダンス いよいよ本番、今後のポイントについて解説
1月	面接対策講座 模擬面接で総仕上げ、色々な面接を体験します
2月	学内合同企業説明会 大学で複数企業の合同説明会を開催します
2月	就活チャトルバス運行 東京の大規模合同説明会にチャトルバスを運行します
いつでも	個別相談 気軽に就職進路開発センターに来てください

長岡造形大学保護者会「大地」の活動内容や事業報告などをおこなっていくコーナーです。  
今回の保護者会通信は在学生の保護者の皆さんからいただいた投稿を掲載いたします。

## 私の趣味・道楽



東京ドームのオープニングゲームプロ野球トーナメントを長男と観戦（1988.4.2）↑

### ◎ 親の七光

私はスポーツが大好きです。今、体を動かすといえ、1年に数回のトレッキング（県内の低山等）、冬季間の「歩くスキー」程度ですが、スポーツ観戦ももちろん好きです。今の時期ですと「高校野球」です。甲子園を目指し、灼熱の太陽の下、白球を追う高校生の姿に感動を覚えます。今年の新潟大会は飛びぬけたチームがおらず、どのチームが優勝しても、おかしくない様相を呈しているようです。[※この手記は7月中旬に投稿されたものです] 2、3日前の新聞に「桜美林・桑田 Jr. 敗れる」という記事が載っておりました。あの巨人軍で活躍した桑田投手の長男が父親と同じ野球の道に進み、西東京大会に臨みましたが残念ながら敗れたとのことでした。

スポーツ界の代表的な二世選手といえ、親子鷹で頑張っている陸上の室伏広治、レスリングの

浜口京子、ウエイトリフティングの三宅宏実などがおります。いずれも北京オリンピックでメダルの獲得が期待される選手であります。ところが、プロ野球において二世選手といえ、長島一茂、野村克則くらいしか思い浮かびません。彼らは偉大な父親の足元に遠く及ばないほどで、活躍できておりません。また、中日の落合監督の息子はやはり、高校で野球をやっており大学に入ったという話を聞いたことがあります。恵まれた、いや恵まれすぎた環境で親の七光に負け、野球界から離れていったのではないかと思います。メジャーリーグではバリー・ボンズをはじめ、二世選手の活躍が目立つといいます。メジャーとの差がどこにあるかわかりませんが、日本でも二世選手が活躍するようになれば、いっそうプロ野球も盛り上がるのではないかと思います。



新潟県長岡市  
武山 繁

## 父ちゃん、母ちゃんから学生諸君へ



庭で栽培している梨↑

### ◎ ストレス社会に打ち勝てる人間形成を

私は昭和42年、中学卒業後すぐ親に勧められるがままに就職しました。当時、山間地の農家ばかりの田舎で、高校への進学率は1～2割程度でしたので、私は何も疑問を持つことなく、当たり前のように仕事に就きました。今思えば、勤め先のはからいで定時制高校を卒業することができたことは大変幸運なことだったと思っています。今は大学・専門学校を出るのが当たり前のような時代になり、自分の希望する学校や仕事も自由に選択できる世の中になったと思いますが、反面求める側の人選も非常に厳しい時代だと思います。

4年生ともなれば就職活動に東奔西走していることと思いますが、今はまさにストレス社会の世の中です。会社にしろ地域にしろ家庭にしろ生活のすべてにストレスとの共存が強いられています。これからの世の中、ストレスに打ち勝

てる人間作りが不可欠なのかもしれません。私自身はストレスからの解放を求め、50代半ばで職を辞して、家庭と趣味（果樹栽培等）に生きることを決断し生活しています。しかし、あなたたちには希望ある未来が待っています。この造形大学は、あなたたちが社会に出るための最後の学舎になると思います。ストレス社会に負けない人間形成と、自身の希望ある未来を見つけるため、この大学でしかできないことを経験し、有意義な学生生活を送ってください。



新潟県長岡市  
長島 与志雄

# TOPICS

最近のイベントや学生活動などをピックアップしてご紹介します。

## オープンキャンパスでNIDをまるごと体験!

2008.07/08

7月26日、27日、8月23日の3日間にわたりオープンキャンパスを開催しました。オープニングの和太鼓サークル「転太鼓舞」の演奏を皮切りに、学生によるキャンパスライフ紹介やアトリエ見学、ワークショップなど、NIDらしさを体験できる多彩なイベントを実施。参加した高校生からは「キャンパスを一日中歩き回っていても飽きない!」、「資料だけで見ると実際に自分の目で見るのは違い、この環境でますます学びたいと思った」、「今まで美大のイメージがあやふやだったが、今回参加して、長岡造形大学のイメージがはっきりして良かった」などのご感想をいただきました。多数のご参加ありがとうございました!



## 夏期デッサン教室開催

2008.08

学年やデッサン経験の有無を問わず基礎からデッサンを学ぶ「夏期デッサン教室」を高校生対象として、8月4日から8月10日まで7日間の日程で開催しました。新潟県内外から多数の高校生が参加し、デッサン及び色彩構成の技術向上のために様々なモチーフの課題に取り組みました。各課題終了後には、仕上げた作品を一堂に並べて本学教員が講評し、参加した高校生は熱心に指導を受けていました。



## 高校教員との技術交流会

2008.08

8月25日から27日の3日間、本学鍛金工房にて高校教員と本学教員による、技術交流会を開催しました。この交流会は、今年で6回目を数え、夏休み期間を利用し、相互の技術交流及び情報交換を図る機会として毎年多くの高校教員から参加

いただいています。今年度は、「銅鍛造によるサインボード(表札)制作」というテーマに基づき、本学馬場省吾教授と工房スタッフの指導のもと、9名の高校教員がデザインから鍛造、仕上げまでの一連の作業を行い、個性あふれる作品が揃いました。



## ケアセンター花の里かつぼ完成

2008.09

長岡東山丘陵に認知症高齢者対応グループホームと地域密着型小規模特別養護老人ホームから構成される複合型の高齢者介護施設「ケアセンター花の里かつぼ」(施主:社会福祉法人長岡東山福祉会)が9月12日に竣工、15日に開業しました。

2005年から本学デザイン研究開発センター(主査:建築・環境デザイン学科 新海俊一准教授)では、COCOON(ココーン)プロジェクトと題し、基本設計、実施設計、施工監理を長岡市内の株式会社ワジツ設計とのジョイントベンチャーで継続的に手掛けてきました。

施設には、眺望デッキ、地域交流室、サンルーム(園芸室)を併設し、遠方に弥彦山を望む立地条件と、地域の特徴である園芸活動を活用し、緑豊かな自然環境の中で園芸福祉療法を展開するべく敷地内には菜園や庭園が設けられています。地域と自然に見守られる「花の里」は入所者と地域住民がともに緑を育む「地域の庭」となるでしょう。豪雪地域に建つ建物の外観は白を基調とし、冬期は雪化粧をした山並みの風景に包み込まれるよう配慮されています。



## 校友会SNSに登録しませんか?

Information

この度、長岡造形大学校友会は大学のバックアップのもと、SNS(ソーシャル・ネットワークキング・サービス:Web上での会員制コミュニティ)の運用を開始いたしました。

SNSは会員相互で情報を書き込むことにより、時間や場所に束縛されず多人数に情報を伝えることができるといった大きなメリットがあります。

校友会も設立10周年を迎え、2009年2月7日には校友会10周年記念式典の開催を計画しています。卒業生だけでなく、退職された教職員にも参加してもらうなど、現在さまざまな企画を検討しています。校友会SNSは、その情報発信や情報交換の場としても利用する予定です。

社会で活躍する卒業生や刺激を求める在学生、教職員間の交流の場として、また、ここから新規プロジェクトの構想やコラボレーションへ発展することも期待しています。どうぞお気軽にご参加ください。



### 【登録・利用開始方法】

以下のURLまたはQRコードから新規登録申請フォームへアクセスし、必要事項を記入の上、送信してください。後ほど運営事務局より招待メールが届きます。あとはメールに従って登録していただければ利用可能となります。

<http://www.nid-aa.net/sns/>



## NID発! 「ながぶろ」+「キャンパスラジオ」

Information

長岡造形大学では、大学の「今」をお伝えするブログ「ながぶろ」(長岡造形大学入試広報課ブログ)を随時更新しています。イベントの紹介、授業や学生の様子、学生から学生へと日記をリレーする「NIDiary」などを時にハートフルに、時にクールにご紹介しています。みなさんのアクセスをお待ちしています。

<http://www.nagaoka-id.ac.jp/blog/>



また、学生や教員が登場し、パーソナリティとテーマに沿ってトークを繰り広げる「長岡造形大学 キャンパスラジオ」をFMながおか80.7MHzにて毎週放送しています。この番組は、学生スタッフが企画・運営し、NID情報を広く地域のみなさんに発信しています。

放送アーカイブは大学ホームページで聴くことができます。是非アクセスしてみてください。

<http://www.nagaoka-id.ac.jp/>



### Editor's Note

先日、友人とお酒を飲み交わす機会がありました。会話の中で友人は「海のひとつ」「山のひとつ」といった具合に出会った人をフィーリングで分類しているそうです。友人が言うには私は「山のひとつ」ということでした。確かに私は海よりも山の木々に癒されます。特に身近に存在している癒されるスポットはNIDの庭園です。大学にあるカツラ並木は年々大きく成長し、夏には涼しげな木陰をつくるまでになっています。大学祭の頃にはハート型の葉が黄色く色づき始め、やがて葉



が落ちると甘いような香りがします。今年も大学祭は楽しそうな企画が満載です。ぜひ足を運んでみてください。

表紙写真:「モナ・リザ」

編集・発行



Nagaoka Institute of Design  
長岡造形大学

長岡造形大学入試広報課

〒940-2088 新潟県長岡市千秋4丁目197番地  
tel. 0258-21-3331 fax. 0258-21-3343

e-mail: nyushi@nagaoka-id.ac.jp

<http://www.nagaoka-id.ac.jp/>